

カタリナ

学報 ————— 第22号

St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2009. 6. 1

聖カタリナ大学第22回

聖カタリナ大学短期大学部第44回 入学式式辞

学長 ホビノ・サンミゲル



自然界のあざやかな緑が春の到来を告げています。そしてほのかなピンク色の桜の花は、日本の国の美しさを全世界に示しています。この素晴らしい春は、人生で言えば青春時代にたとえられます。青春期は人間にとって最も素晴らしい時代です。青春時代はバイタリティに溢れ、希望と夢に満ちた時代です。今日、その美しい春の日に、青春時代を迎えた人々が、聖カタリナ大学に入学しました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。春のようなエネルギーを持ち、大きな夢と希望を抱いて、人生の新しい段階を始めようとしている皆さんを、私たちは心から歓迎いたします。また、韓国にある私たちの姉妹校、ウソン大学から、9名の学生が

編入学しました。皆さんと共に歓迎したいと思います。

今までこの若者を支え、導いてくださった保護者の皆様に、心からのお祝いを申し上げますと共に、感謝とお礼を申し上げます。

また、ご多忙の中、この歴史的な時を私たちと共に祝うためにご出席いただいた、ご来賓の皆様にも感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

新入生の皆さん、すべての人は幸せになりたいと思っています。私たちは幸せになるために、この世に生れたのです。しかし幸せとは、自動的に得られるものではなく、自分の努力によって獲得しなければならぬものなのです。それは、私たちが生れたときに受けた命が、完成品として授かったものではないからです。幸福という目標に向かって歩いていく人間の命は、自分の手で完成に導かねばなりません。そうすることは、人間ひとりひとりに与えられた、大きな責任でもあるのです。

現代において、人間の命は自然科学と医学の素晴らしい進歩によって、長く保たれるようになりました。先進国の平均寿命は、今や100歳に近づこうとしています。しかし人間は長く生きるだけでは、必ずしも幸せな人生を過ごしたとは言えません。人間の命は体と心を持っており、また人間は物質的存在であるだけでなく、霊的、精神的な存在でもあるからです。私たちが、本当の意味で幸せになるためには、人生における健全な土台が必要です。この健全な土台づく



キャンドルの光の中で入学生宣誓

り、言い換えれば、人間としての基礎づくりには、学問的な知識だけではなく、精神的、倫理的、宗教的な価値を見出すこと、即ち自分の中に存在する全ての能力を、総合的に育成することが重要なのです。

新入生の皆さん、大学生活は人格形成の大切な機会です。優れた人格を持つ人になるために、準備してください。しっかりと専門的な知識を身に付けながら、あなた自身の人生を、精神的な価値に基づいて築くための努力をしてください。そうすることによって、今、青春期に抱えている夢と希望が、人生を通じて実現されるのです。大学時代に培ったあなたの命が、これからの長い人生を通じて、質の高い幸せな生活を過ごすことができると、私は信じています。そして本学の教職員は、皆さんの目標達成の為に、全力を尽くして導くことを、私は確信しています。

本学はカトリック教会と聖ドミニコ修道会の精神に基づく教育を行っています。カトリック大学はトータルな人間形成を行うという使命を持っています。本学もまた、キリスト教のヒューマニズムに基づいて、身体面と精神面のバランスをとりながら、専門的、倫理的、宗教的な価値を通じて、優れた人格を形成することを目指しています。

本学はまた、聖ドミニコ修道会の大学として、修道会の精神に基づいて、人格の育成を行っています。修道会の精神とは、一言で言えば「愛と真理」です。キリスト教的な愛に基づいて生き、一生を通じて真理を探究するという事です。分かりやすく言えば、「すべての人々を大切にしながら生きること」。それが「キリスト教的な愛」です。また、「自分と人々の真の幸せを捜し求めて生きること」。それが「真理を探究する」ということです。この精神は、過去800年もの長い歴史の中で、聖ドミニコ修道会を支え、国際的な価値、普遍的な価値として認められてきたものです。この精神の下で、修道会は全世界に多くの教育機関、大学、研究所などを設立し、運営しています。そして様々な分野で、偉大な聖人、学者、そして数多くの模範的な人間を育ててきました。代表的な人物は、歴史の教科書にも登場する偉大な学者、聖トマス・アクィナスと聖カタリナです。

皆さん、本学の建学の精神は、設立母体である聖ドミニコ修道会と同じく、「愛と真理」です。今日からこの建学の精神に基づいて学問を修め、そして、長い人生を幸福に過ごすために、あなた自身が「愛と

真理」を身につけてください。未来の社会は、今以上に大きく変化していくことでしょう。世界のグローバル化は進み、私たちは多様な文化を認め合う社会の中で生活していくこととなります。また、科学技術も進歩し、各種産業ではロボットが今以上に活躍し、近い将来、宇宙で人類が生活できる時代がくるかも知れません。しかし、人間社会が抱える全ての問題を、学問や科学技術だけで解決することはできません。なぜならば多くの問題は、物質的なものではなく、人間的な問題だからです。人間を大切にすること、自分の存在の意味と人生の目的についての真理を悟ることが、その人間的な問題を解決させ、人類を幸福に導くものと私は確信しています。

先ほど聖書の中から、イエスのことばが朗読されました。人間は社会にとって、「塩」と「光」にならなければならないとイエスは言いました。塩には3つの特徴があります。第一に料理に味をつけること、第二に、生物を腐敗から守ること、そして第3に、宗教的な意味として、人を清めることです。そして塩はその役割を果たすことによって、自分自身の形を失い、新しい存在になります。人を愛するという好意は、この塩の働きと同じなのです。思いやりの心で人々を大切にし、愛する人のために自分の命を捧げること、それがキリスト教的な愛なのです。

一方、光は2つの特徴を持っています。それは照らすことと温めることです。社会の光になる人は、社会に暖かさや喜びを与える人です。真理は光と同じ役割を果たしています。真理を悟った人は周囲の人々を照らし、幸福に向かう人生の道を教える人です。

まさに、イエスが語った塩と光は、本学の見学の精神である「愛と真理」です。どうか皆さんも、本学での学びを通じて、「愛と真理」に生きる人になってください。

皆さん、本学のキャンパスは **Familia** の雰囲気をもっています。**Familia** とは、スペイン語で「家庭」と言う意味です。皆さんが今日から、この家庭的な雰囲気の中で友情を育て、学問を修得して、すばらしい人格をつくり、楽しい学生生活を送ることを期待しています。今から始まる大学生活における、皆さんの健康と幸せをお祈りして、私のあいさつと致します。



●ボランティアウィーク開催！

ボランティアウィークは、ボランティアセンターなど学生が協力して開催する、毎年恒例のチャリティーイベントです。国内外のボランティア団体を支援するために募金活動も行います。

収益金は例年どおりのAMUDA、Child Fund Japan、あしなが育成会の3団体に加え、日本ライトハウス(盲導犬育成)パピー育成基金への寄附を予定しています。ぜひご参加、ご協力ください。

日時：平成21年7月4日(土) 11:00～16:00

主な内容：

- ・カタリナホールで行うチャリティーイベント
- ・サークル、外部団体の紹介
- ・バザー、フリーマーケット
- ・出展展示



平成20年度ボランティアウィークの様子
—メイククラブによる手話コーラス—

●保育学科リカレントセミナー

保育学科では、幼稚園、保育所、施設などに勤務されている方や希望者を対象に、第10回リカレントセミナーを開催します。

日程：平成21年8月20日(木)

会場：保育学科棟

受付：10:00～

開始：10:30～14:30

●子育て支援ひろばくぼけっと>

「ぼけっとまつり」開催！

カタリナ子育て支援ひろばくぼけっと>は、多くの親子が利用し、母親たちの情報交換の場になっています。3月27日(金)にはキャンパス内で、「ぼけっとまつり」を開催。松山市内外から557人の方に来場していただきました。



主な内容：

- ・メインステージ
- ・遊び、企業、フリマのコーナー
- ・体験ぼけっとクラブ
- ・ぶかさんの人形劇

●平成21年度後援会奨励表彰



5月14日(木)、母をたたえる日の行事に併せ、若江後援会長から後援会奨励金の授与が行われました。この奨励制度は、在学生の学業成績優秀者に後援会から奨励金を授与し、更なる勉学への励みとしてもらうものです。今年度の表彰者は以下の皆さんです。

- | | |
|---------------|--------------|
| 天野 咲 さん(社2) | 安高 まり さん(経3) |
| 佐伯 泰史 さん(社2) | 伊勢元 さん(保2) |
| 大野 奈津美 さん(社3) | 辻本 優花 さん(保2) |
| 窪中 恵美 さん(社3) | 迫 真由美 さん(健2) |
| 船田 みどり さん(健2) | |

◆◇ 平成20年度後期行事 (H20.10.1～H21.3.31) ◇◆

月	日	曜	区	行 事
10	1	水	大	入試・募集委員会
	3	金	大	まつやまシニアカレッジ, 大学評価委員会
			短	健康栄養学科会議
	5	日	大	社会福祉士国家試験対策講座[3・4回生]
	8	水		研究紀要編集委員会
	10	金	大	大学評価委員会
	11	土	大	A O入試(面接), 外国人留学生入試, 3年次編入(指定校・提携校Ⅰ期・一般入試Ⅰ期) 大学評価委員会 社会福祉士国試対策講座[3・4回生]
			短	A O入試(面接)
	13	月		平成20年度愛媛県保育士試験実技試験
	14	火	短	入試・募集委員会, 判定教授会
	15	水	大	入試・募集委員会, 判定教授会, 教務委員会
	16	木		理事長講話
	17	金		将来検討委員会
			大	まつやまシニアカレッジ
	19	日	大	社会福祉士全国公開模試[3・4回生]
	20	月		スポーツ奨学生検討委員会
	22	水		人間文化研究所フォーラム
			大	大学評価委員会
	24	金		大学祭(～10/26)
	29	水		キリスト教文化研究所フォーラム
			大	大学評価委員会
			大	大学評価委員会
	31	金		保育学科会議
11	1	土	大	精神保健福祉士国試対策講座[3・4回生]
			短	推薦入試(指定校・専願・ｽﾎﾟｰﾂ・外国人・社会人Ⅰ期) 判定保育学科会議
	4	火	短	保育実習[保Ⅰ](～11/15)
			大	入試・募集委員会, 奨学生選考委員会
	5	水	大	入試・募集判定委員会
			短	教授会
	7	金	大	まつやまシニアカレッジ, 大学FD委員会, 大学評価委員会
	8	土	大	一般推薦・特別推薦入試 社会福祉士国試対策講座[3・4回生]
	10	月	大	入試・募集委員会, 奨学生選考委員会
	11	火	大	教授会
	12	水		学生運営委員会
	14	金		将来検討委員会
	15	土	大	教育懇談会 社会福祉士国試対策講座[3・4回生]
	18	火		保健講話
	19	水		人間文化研究所フォーラム
	21	金	大	まつやまシニアカレッジ, 教職課程委員会, 教務委員会
			短	保育学科会議, 健康栄養学科会議
	22	土	短	一般推薦, 社会人Ⅱ期特別入試 判定保育学科会議
	25	火	短	入試・募集委員会, 判定教授会
	26	水		キリスト教文化研究所フォーラム, 就職委員会
	27	木		図書委員会
	28	金		入試・募集委員会, 国際交流委員会
			大	社会福祉実習委員会
	29	土		人間文化研究所公開講座 社会福祉士国試対策講座[3・4回生]
12	2	火		ボランティアセンター運営委員会
			大	社会福祉実習連絡会
			短	大学評価委員会
	3	水		学生生活委員会, 研究紀要編集委員会
	4	木		広報委員会, 学生相談室委員会
	5	金	大	大学評価委員会, 生涯学習推進委員会
			短	教授会
	6	土	大	学部公開講座

月	日	曜	区	行 事
12	9	火	大	大学評価委員会
	10	水		人間文化研究所フォーラム, 障害学生支援推進委員会
	12	金	大	人事委員会
			短	健康栄養学科会議
	13	土		高校1・2年生・保護者対象大学説明会
			大	社会福祉士国試対策講座[4回生]
	14	日	大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]
			短	栄養士実力試験
	15	月	大	教授会
	16	火	大	精神保健福祉援助実習連絡会, 大学評価委員会
	17	水		キリスト教文化研究所フォーラム
	19	金		学内クリスマス, 授業終了
			大	社会福祉実習委員会, 大学評価委員会
			短	保育学科会議
	20	土	大	社会福祉士国家試験対策講座[3・4回生]
	21	日		冬季休業開始
			短	フードスペシャリスト試験
	22	月		県社協介護福祉士実習指導者養成研修会(～12/23)
	23	火	大	精神保健福祉士国試対策講座
	24	水		事務職員研修会
1	5	月	大	社会福祉士国試対策講座[4回生]
	6	火		県社協介護福祉士実習指導者養成研修会(～1/7)
			大	社会福祉士国試対策講座[4回生]
	7	水		冬季休業終了
	8	木		授業開始
			短	教授会
	9	金	大	教授会, 大学評価委員会
	10	土	大	社会福祉士国試対策講座[3回生]
	11	日	大	社会福祉士国試対策講座[3回生]
	16	金		入試・募集委員会
	17	土	大	大学入試センター試験
			大	社会福祉士国試対策講座[3回生]
	18	日		大学入試センター試験
			大	社会福祉士国試対策講座[3回生]
	19	月	短	幼稚園教育実習[保Ⅰ](～1/30)
	21	水		人間文化研究所フォーラム
			大	教務委員会
	22	木	大	就職委員会
	23	金	大	社会福祉実習委員会
			短	健康栄養学科会議
	24	土	短	一般入試(A日程), 外国人・社会人入試(Ⅲ期) 判定保育学科会議
	26	月	短	入試・募集委員会, 判定保育学科会議, 教授会
	28	水		キリスト教文化研究所フォーラム
	30	金	短	保育学科会議
2	1	日	大	一般入試(A日程)
	2	月	大	後学期授業終了
	3	火	大	後学期試験(～2/9), 教授会
	5	木		卒業式予行練習
			短	判定保育学科会議
	6	金	大	選考教授会
			短	入試・募集判定委員会, 教授会
	9	月	大	後学期試験終了
			短	後学期授業終了
	10	火	大	外国人留学生入試 3年次編入(推薦入試提携校Ⅱ期・一般入試Ⅱ期) 入試・募集委員会, 判定教授会
	13	金		学長と学生との懇談会 図書委員会, 障害学生支援委員会
			大	人事委員会
	16	月	大	社会福祉援助技術現場実習[経3](～3/18) 精神保健福祉援助実習[社3](～3/31) 介護福祉実習[介3](～2/20)
	17	火	大	FD委員会

月	日	曜	区	行 事
2	18	水	大	介護福祉実習[介2] (~3/13)
				短 保育学科実習懇談会
	20	金	大	教務委員会
	23	月	大	教授会
	24	火	短	一般入試(B日程), 社会人特別入試(IV期)
				判定保育学科会議, 入試・募集委員会, 判定教授会 健康栄養学科会議
	25	水	大	キリスト教文化研究所フォーラム
短 一般入試(B日程) 入試・募集判定委員会, 判定教授会				
26	木	大	予算委員会	
27	金	大	社会福祉実習委員会	
			短 教授会	
3	3	火	大	教職課程委員会
	4	水	短	保育実習I[保1(1班)] (~3/26)
	6	金	大	人事委員会

月	日	曜	区	行 事
3	7	土	短	後援会役員会
	10	火	短	判定保育学科会議, 入試・募集委員会, 教授会
	11	水	短	奨学生選考委員会
	13	金	大	入試・募集委員会, 大学評価委員会
				学部教員FD研修会, 産官学連携事業研究発表会
	14	土	短	卒業証書授与式, 各種会長表彰の伝達式
	16	月	大	一般入試C日程
				短 入試・募集委員会, 教授会, 選考教授会 保育実習I[保1(2班)] (~3/26)
	19	木	短	広報委員会
	21	土	短	春季休業開始
	26	木	短	入試・募集委員会
	27	金	大	社会福祉実習委員会
				短 「ぼけっとまつり」
	28	土	短	健康栄養学科教育懇談会
	31	火	短	春季休業終了, 後学期終了

◆◇ 平成20年度教授会議題（後期） ◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H20.9.26 第7回

1. 休学・2. 退学・3. 除籍について
4. 長期履修学生について
5. 聴講生の受け入れについて
6. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

H20.10.15 第8回

1. 平成21年度AO入試(第2回)合格者選考について
2. 平成21年度編入学提携校推薦入試I期合格者選考について
3. 平成21年度編入学国際提携校推薦入試合格者選考について
4. 平成21年度編入学一般入試I期合格者選考について
5. 復籍について

H20.11.11 第9回

1. 平成21年度指定校特別推薦入試合格者選考について
2. 平成21年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について
3. 平成21年度一般推薦入試合格者選考について
4. 休学・5. 退学・6. 復籍について
7. 履修科目の登録の特別許可について

H20.12.15 第10回

1. 平成21年度学年暦について
2. 学長賞の選考について
3. 学部長候補者選考にかかる選挙管理委員の選出について
4. 研究倫理上の申し出に対する対応について

H21.1.9 第11回

1. 聖カタリナ大学学則の一部改正(案)について
2. 平成21年度AO入試合格者の転専攻について

H21.2.3 第12回

1. 平成21年度一般入試A日程合格者について
2. AO入試合格者の転専攻について
3. 聖カタリナ大学教員選考基準の一部改正について

H21.2.10 第13回

1. 平成21年度大学入試センター試験利用入試前期合格者選考について
2. 平成21年度編入学提携校推薦入試II期合格者選考について
3. 平成21年度編入学一般入試II期合格者選考について

H21.2.23 第14回

1. 卒業判定について
2. 聖カタリナ大学試験に関する規程の一部改正について

H21.2.25 第15回

1. 平成21年度一般入試B日程合格者選考について

H21.3.16 第16回

1. 平成21年度一般入試C日程合格者選考について
2. 平成21年度大学入試センター試験利用入試後期合格者選考について

3. 卒業の認定について

4. 進級判定について

5. 退学について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H20.9.25 第7回

1. 退学について
2. 科目等履修生の受け入れについて
3. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

H20.10.14 第8回

1. 平成21年度AO入試合格者選考について
2. 退学について

H20.11.5 第9回

1. 平成21年度指定校推薦入試合格者選考について
2. 平成21年度専願推薦入試合格者選考について
3. 平成21年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について
4. 平成21年度社会人特別入試(I期)合格者選考について

H20.11.25 第10回

1. 平成21年度一般推薦入試合格者選考について

H20.12.5 第11回

1. 平成21年度学年暦について
2. 学長賞の選考について

H21.1.8 第12回

1. 聖カタリナ大学短期大学部学則の一部改正(案)について
2. 聖カタリナ大学短期大学部試験に関する規程の一部改正について

H21.1.26 第13回

1. 平成21年度一般入試(A日程)合格者選考について
2. 『聖カタリナ大学短期大学部学科長に関する規程』の一部改正について
3. 『聖カタリナ大学短期大学部学科長候補者選考規程』の制定について

H21.2.6 第14回

1. 平成21年度大学入試センター試験利用入試(前期)合格者選考について

H21.2.24 第15回

1. 平成21年度一般入試(B日程)合格者選考について

H21.2.27 第16回

1. 卒業の認定について

H21.3.10 第17回

※報告・連絡事項のみ

◆◆ 人 事 ◆◆

《平成20年12月31日付け》

【退職】

総務課
技術職員 村上 君男

《平成21年1月1日付け》

【新規採用】

総務課
技術職員(非) 中山 美津江
技術職員(非) 山下 万由子

《平成21年1月31日付け》

【退職】

総務課
技術職員(非) 石田 知美

《平成21年3月31日付け》

【退職】

聖カタリナ大学
教授 岩邊 晃三
" 三根 誠
聖カタリナ大学短期大学部
助手 今村 礼子

図書課
事務職員 豊田 由紀子
会計課
労務職員(非) 重松 幸夫
" 西崎 角太郎
用務員(非) 井上 百合子
" 玉江 富美子
" 金井 ますみ
" 堀田 静徳
" 渡部 ナミエ

《平成21年4月1日付け》

【昇任】

人間健康福祉学部
教授 秋山 昌江
山本 克司
宮武 信枝
山本 真嗣
田中 眞希
准教授
" 田中 眞希
助教
" 田中 眞希
学生部
事務部長 宮本 謙

【新任】

人間健康福祉学部
学部長 坂原 明
聖カタリナ大学短期大学部
保育学科長 中島 紀子
人間文化研究所
所長 下田 正

【新規採用】

入試広報課
事務職員 蔵前 純二
学生支援課
事務職員(非) 藤井 弥生
総務課
事務職員(非) 大石 雅実
《平成21年4月20日付け》

【新規採用】

学生支援課(非) 佐伯 亜子
《平成21年4月22日付け》

【新規採用】

学生支援課(非) 大西 理絵
" 清水 千代子

◆◆ 平成20年度卒業生就職状況 ◆◆

平成21年5月1日現在

聖カタリナ大学

1. 業種別状況

業種 / 学科		就職者数
社会福祉施設等	児童福祉	2
	老人福祉	61
	知的障害者福祉	9
	身体障害者福祉	5
	精神障害者福祉	2
	その他の社会福祉	1
医療施設	病院	15
	建設・製造	6
	運輸・通信	3
	卸・小売	31
	金融	3
	教育・学習支援	2
	サービス・その他	33
公務	国家・地方公務	5

就職者数	(県内)	178
	(県外)	(146)
卒業生内訳	(県外)	(32)
	未定者数	15
	就職希望者数	193
	就職率(%)	92.2%
	進学	5
	家事・その他	14
卒業生数	212	

2. 職種別状況

業種 / 学科		就職者数
医療ソーシャルワーカー (MSW)		4
精神科ソーシャルワーカー (PSW)		6
相談員 (老人関係)		9
指導員 (知的・身障・児童他)		16
介護福祉士・ケアワーカー (介護・療母)		58
その他の福祉専門職 (保育士等)		1
教員 (高等学校)		1
事務		25
営業・販売		38
サービス他		20
合計		178

聖カタリナ大学短期大学部

1. 業種別状況

業種 / 学科	就職者数		
	保育	健康栄養	計
公立保育所	5		5
私立保育所・託児所	25	2	27
児童福祉施設			0
その他の施設	4	3	7
公立幼稚園	2		2
私立幼稚園	33		33
各種学校等	1	1	2
一般病院・診療所	3	4	7
建設・製造		4	4
運輸・通信		1	1
卸・小売	5	8	13
金融			0
サービス・その他	7	7	14
国家・地方公務		2	2

就職者数	(県内)	85	32	117
	(県外)	(82)	(31)	(113)
未定者数	(県外)	(3)	(1)	(4)
	未定者数	4	8	12
	就職希望者数	89	40	129
	就職率(%)	95.5%	80.0%	90.7%
	進学	5	5	10
	家事・その他	9	7	16
卒業生数	103	52	155	

2. 職種別状況

業種 / 学科	就職者数		
	保育	健康栄養	計
保育士	31		31
幼稚園教諭	35		35
その他の教員	1	1	2
支援員・介護員等	4		4
栄養士 (研究職等)		12	12
事務	2	8	10
医療事務	2	2	4
販売	6	4	10
サービス他	4	5	9
合計	85	32	117

◆◇ 平成 20 年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◇◆

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。百万円未満は四捨五入して記載しています。

■1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が 41 億 28 百万円(予算比+43 百万円)、資金支出が 41 億 13 百万円(予算比△1 億 6 百万円)となりました。結果、差額 15 百万円を前年度繰越支払資金に加算し、次年度繰越支払資金は、24 億 30 百万円となりました。

科 目		予 算(a)	決 算(b)	増減(b)-(a)
前年度繰越支払資金		2,416	2,416	-
当年度	資金収入	4,085	4,128	43
	資金支出	4,219	4,113	△106
	収支過不足	△134	15	148
次年度繰越支払資金		2,282	2,430	148

■資金収支計算書: 当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入及び支出の顛末を表します。

■2. 消費収支決算

消費収支決算は、帰属収入が 39 億 47 百万円(予算比+37 百万円)、基本金組入額が 3 億 57 百万円(予算比+13 百万円)となり、その結果、消費収入は 35 億 90 百万円(予算比+24 百万円)となりました。一方、消費支出は 37 億 76 百万円(予算比△98 百万円)となり、当年度消費収支差額は△1 億 86 百万円(予算比+1 億 22 百万円)となりました。この結果、翌年度繰越消費支出超過額は、22 億 68 百万円の予算に対し、決算では 21 億 46 百万円となりました。

科 目		予 算(a)	決 算(b)	増減(b)-(a)
①帰属収入		3,910	3,947	37
②基本金組入額(△)		344	357	13
③消費収入 ①-②		3,566	3,590	24
④消費支出		3,874	3,776	△98
当年度消費収支差額 ③-④		△308	△186	122
前年度繰越消費支出超過額		△1,960	△1,960	-
翌年度繰越消費支出超過額		△2,268	△2,146	122

■消費収支計算書: 当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を表します。一般企業会計の「損益計算書」に当たります。

■3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末(平成 21 年 3 月 31 日)において、資産の部 159 億 37 百万円、負債の部 18 億 37 百万円、基本金の部 162 億 45 百万円、消費収支差額の部における翌年度繰越消費支出超過額は 21 億 46 百万円となりました。

■貸借対照表: 一定時点(本学は3月末現在)の資産および負債、基本金、消費収支差額の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

科 目	本年度末(a)	前年度末(b)	増減(a)-(b)
資産の部			
固定資産	13,240	13,184	56
有形固定資産	10,527	10,543	△17
その他の固定資産	2,714	2,641	73
流動資産	2,697	2,751	△54
合 計	15,937	15,935	2
負債の部			
固定負債	1,173	1,332	△159
流動負債	665	675	△10
基本金の部			
基本金	16,245	15,888	357
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費支出超過額	△2,146	△1,960	△186
合 計	15,937	15,935	2

※参 考*****
 学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的にした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、「経営」という視点を欠き、過分な設備投資や場当たりの運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招いてしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和 46 年に文部省令第 18 号として制定された「学校法人会計基準」です。学校法人は、この「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成することが義務づけられています。***

◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学
人間健康福祉学部 岩満 賢次



私は、大学入学と同時に社会福祉学という学問に足を踏み入れてから、はや13年目に入りました。大学時代は、社会福祉基礎構造改革の真っただ中にあり、社会福祉法、介護保険法など現在の社会福祉の根幹となる法律が成立し、現場も大学も右往左往していました。大学の講義中に、私の師匠から「君たちが大学で過ごした時代は、福祉の大改革時代だった、と言える日が必ず来る」と言われたことが思い出されます。

私は、実は「専門は何か？」と聞かれると少し困ります。それは、社会福祉士養成課程の科目のどれに当てはまるのか考えると、あまりじっくり考えるものがないからです。強いて言えば、地域福祉論かとは思いますが、あまり既存の地域福祉論の教科書に載らないような周辺学問領域から多くを取り入れているため、違和感が残ります。特に、政治学の影響があります。

余談ではありますが、社会福祉士養成課程の科目に政治学がないことは不思議でなりません。なぜならば、社会福祉サービスの多くは、何らかの法律に則っており、立法は極めて政治的なことであるからです。社会福祉基礎構造改革を見てみても、かなり特定の政治的イデオロギーが強いことは容易に分かるはずです。

さて、私の研究のキーワードの一つは「民主主義」です。社会福祉基礎構造改革の波を受け、介護保険制度に象徴されるように、「措置から利用（契約）制度へ」というスローガンのもと、福

祉サービスに市場の原理が導入されました。「はたして、市場の原理にもとづく意思決定というものとは民主的なものであるのか」という問いに対して取り組んでいます。

ホームレス、孤独死、自殺、虐待など複雑かつ多様化する現代の生活課題に対して市場の原理で対応できるのでしょうか。これらの生活問題を抱えるようなマイノリティの声を拾う仕組みはどうあるべきか。彼らが発言できるような民主主義とはどのようにすれば実現しえるのか。私はまだまだ未熟であるために、「福祉とは何か」と問われた時に明確な回答を示すことはできませんが、「社会が民主的であること」は福祉にとって重要な要素ではないでしょうか。現代のような大きく社会が転換し、生活課題が複雑化する中で、このような課題に取り組むことは荷が重いことではあります。また、暗い話題も多く、時には嫌気の指す時もあります。しかし、本学に採用して頂き、研究者としての地位を与えて頂いたことへの感謝を忘れず、社会の難題に微力ながらも貢献していきたいと思えます。



聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 松山市北条660
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行
聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp